

平成28年10月野田市教育委員会会議録

◇日時 平成28年10月26日（水）午後1時30分開会 午後2時23分閉会

◇場所 野田市役所低層棟4階委員会室

◇出席委員 東條三枝子教育長 高橋保教育委員 伊藤稔教育委員 飯田芳彦教育委員 永瀬大教育委員

◇説明職員 杉山一男生涯学習部長 伊藤公夫生涯学習部次長（兼）社会教育課長 中村利夫教育総務課長 上原定夫青少年課長 寺田幸生興風図書館長 植竹広幸社会体育課長補佐 長谷川昌男学校教育部長 桑原辰夫学校教育部次長（兼）指導課長 長妻美孝学校教育部参事（兼）学校教育課長

◇書記 小関秀章教育総務課長補佐（兼）財務係長

◇付議事件

- （1）野田市教育委員会表彰の決定について
- （2）野田市小中学校結核対策委員会委員の委嘱について
- （3）野田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について

◇教育長の報告事項

・教育総務課

- （1）平成28年第3回野田市議会定例会の報告について
- （2）公開質問への回答について

・社会体育課

- （1）健康づくりフェスティバルの実施について
- （2）第30回野田市民駅伝競走大会の開催について
- （3）スポーツ功労者の表彰について

・青少年課

- （1）第1回野田市青少年センター運営審議会の概要報告について
- （2）オープンサタデークラブの実施状況（前期）について
- （3）第38回野田市こどもまっぴの結果について

・指導課

- （1）第70回東葛飾地方中学校駅伝競走大会の結果について
- （2）いじめ実態調査について
- （3）千葉県児童生徒科学作品展について
- （4）音楽コンクール結果について
- （5）平成28年度中学校体育祭における怪我の調査について

◎東條教育長

傍聴の方はいらっしゃいますか。

◎小関書記

おりません。

◎東條教育長

ただいまから、平成28年10月教育委員会定例会を開催いたします。

◎東條教育長

それでは、会議を始めます。

本日の会議録署名委員を伊藤委員にお願いいたします。

会議録承認の件に入ります。

平成28年9月定例会の会議録について、確認をお願いいたします。

ご異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎東條教育長

ご異議なしと認め、9月定例会会議録につきましては、承認をいたします。

それでは、議案の審議に入ります。

議案第1号を議題といたします。

書記、お願いします。

(書記議案朗読)

◎東條教育長

事務局から説明をお願いいたします。

教育総務課長。

◎中村教育総務課長

議案第1号 野田市教育委員会表彰の決定についてご説明申し上げます。

本案は、野田市教育委員会表彰規程に基づき、個人7名、団体3組の表彰の決定をお願いするものでございます。

野田市教育委員会表彰規程の写しにつきましては、お手元の資料の6ページから7ページに添付させていただいております。

受賞候補者につきましては、受賞候補者選考委員会で審議し、個人7名と団体3組を受賞候補として決定いたしました。

2ページをご覧ください。

平成28年度教育委員会表彰推薦者一覧のナンバー1から順番にご説明いたします。

初めに、ナンバー1、東部中学校3年生の岡田幹太さんですが、「第3回WBSC U-15 ベースボールワールドカップ2016 in いわき」に投手として出場し、チームの準優勝に貢献しました。野田市教育委員会表彰規程、以下表彰規程と略称させていただきますが、こちらの規程の第3条第4号の「その他委員会が表彰するのが適当であると認める業績又は行為のあったもの」に該当し、表彰しようとするものでございます。

次に、ナンバー2、平井忠さんですが、野田市体育協会山岳部長として、市民への登山の普及と技術向上に努め、野田市山岳界の基盤確立と興隆に尽くされ、文部科学大臣から平成28年度生涯スポーツ功労賞を受賞しました。表彰規程第2条第8号の「その他委員会が表彰するのが適当であると認める業績又は行為のあったもの」に該当し、表彰しようとするものでございます。

次に、ナンバー３、戸邊昇輝さんですが、第33回全国少年少女レスリング選手権大会小学校３年生30キログラム級で優勝しました。表彰規程第３条第４号の「その他委員会が表彰するのが適当であると認める業績又は行為のあったもの」に該当し、表彰しようとするものでございます。

次に、ナンバー４、古市一翔さんですが、第33回全国少年少女レスリング選手権大会小学校５年生39キログラム級で準優勝しました。表彰規程第３条第４号の「その他委員会が表彰するのが適当であると認める業績又は行為のあったもの」に該当し、表彰しようとするものでございます。

次に、ナンバー５、古市大翔さんですが、第33回全国少年少女レスリング選手権大会小学校３年生25キログラム級で準優勝しました。表彰規程第３条第４号の「その他委員会が表彰するのが適当であると認める業績又は行為のあったもの」に該当し、表彰しようとするものでございます。

次に、ナンバー６、鍋島あいるさんですが、日清食品カップ第32回全国小学生陸上競技交流大会５年生女子100メートルで第１位となりました。表彰規程第３条第４号の「その他委員会が表彰するのが適当であると認める業績又は行為のあったもの」に該当し、表彰しようとするものでございます。

次に、ナンバー７、古賀彩花さんですが、全日本ジュニアテニス選手権12歳以下の部女子シングルスで優勝しました。表彰規程第３条第４号の「その他委員会が表彰するのが適当であると認める業績又は行為のあったもの」に該当し、表彰しようとするものでございます。

次に、ナンバー８、野田市立中央小学校読書支援ボランティアもりのほんだなですが、子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣賞を受賞しました。表彰規程第２条第６号の「文化活動において特に優秀な成績をあげたもの」に該当し、表彰しようとするものでございます。

次に、ナンバー９、みずき小図書ボランティアの会ですが、子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣賞を受賞しました。表彰規程第２条第６号の「文化活動において特に優秀な成績をあげたもの」に該当し、表彰しようとするものでございます。

次に、ナンバー10、南部中学校吹奏楽部ですが、第28回全日本マーチングコンテスト中学校の部で金賞を受賞しました。表彰規程第３条第１号の「在学中の成績が特に優秀なもの」に該当し、表彰しようとするものでございます。

以上のような功績から、個人７名と団体３組について教育委員会表彰の決定をお願いしようとするものでございます。よろしくご審議の上ご決定賜りますようお願いいたします。

なお、ご決定いただいた後には、11月５日土曜日午前９時から、市役所２階中会議室において表彰式を行う予定ですので、委員の皆様にはご出席くださいますようお願い申し上げます。

以上でございます。

◎東條教育長

ただいま７人の個人候補、そして３つの団体の候補について推薦理由がございました。何かご質問等ありましたらお願いいたします。

高橋委員さん、お願いします。

◎高橋委員

表彰の推薦者について云々ということは全くありません。１つだけ確認をしたいのは、この教育委員会表彰と野田市表彰、これはどういう関係になるのか、整合性がとれるのか、

それとも、今回1名の方が野田市表彰、そして今回教育委員会表彰という形になっているんですが、その辺の整合性についてちょっとお尋ねしたいと思います。

以上です。

◎東條教育長

いかがでしょうか。

教育総務課長。

◎中村教育総務課長

整合性という点では、合致しているということではございません。野田市表彰につきましては、野田市表彰条例に基づいた表彰ということでございます。教育委員会表彰につきましては、野田市教育委員会表彰規程に基づいておりますので、必ずしも合致しているということではございません。

以上でございます。

◎高橋委員

それぞれの規定に基づいての表彰であるので、問題はないというふうに解釈していいということですね。

◎中村教育総務課長

そのとおりでございます。

◎高橋委員

はい、わかりました。

◎東條教育長

他にいかがでしょうか。

無なければ、議案第1号についてお諮りをしたいと思います。

議案第1号について、原案のとおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎東條教育長

ご異議なしと認めます。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第2号を議題といたします。

(書記議案朗読)

◎東條教育長

事務局から説明をお願いします。

学校教育課長。

◎長妻学校教育課長

それでは、議案第2号の野田市小中学校結核対策委員会委員の委嘱について、提案理由をご説明いたします。

小中学校結核対策委員会は、野田市小中学校結核対策委員会設置要綱において、結核検診の適正かつ円滑な実施を目的に設置され、委員会の委員15人以内で組織することとなっております。

現在の任期が平成27年11月1日から平成28年10月31日までとなっておりますので、新たに平成28年11月1日から平成29年10月31日までの1年間、委員として委嘱しようとするものでございます。

なお、本審議会の女性登用率につきましては、目標50%に対しまして、今回委嘱させて

いただきます13名の委員、そして学校教育部長、学校教育課長合わせた15名中、男性9名、女性6名でございますので、40%となっております。

よろしくご審議の上ご決定賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

◎東條教育長

ただいまの件につきまして、ご質問等ありましたらお願いいたします。

ございませんでしょうか。

無いようでございますので、議案第2号についてお諮りをいたします。

議案第2号について、原案のとおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎東條教育長

ご異議なしと認めます。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第3号を議題といたします。

(書記議案朗読)

◎東條教育長

事務局から説明をお願いいたします。

社会教育課長。

◎伊藤社会教育課長

野田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定についてご説明申し上げます。

野田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例につきまして、川間公民館の新築に伴い川間公民館の位置が変更になることから、本年7月の教育委員会議でご決定いただき、9月の野田市議会定例会において可決され、9月29日に公布されておりますが、新築後の川間公民館の開館日や川間公民館建設検討懇談会における検討の上、教育委員会会議において決定することから、施行期日は教育委員会規則で定める日としていました。

このたび、川間公民館建設検討懇談会で開館日が平成29年1月21日と提案されたことから、同条例の施行期日を平成29年1月21日と定めようとするものです。

よろしくご審議の上ご決定賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

◎東條教育長

ただいまの説明について、何かご質問等ございましたらお願いいたします。

ございませんでしょうか。1月21日ということでございます。

無なければ、議案第3号についてお諮りをいたします。

議案第3号について、原案のとおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎東條教育長

ご異議なしと認めます。

よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

次に、教育長の報告事項に入ります。

報告事項に対する質問については、報告事項の説明終了後に一括してお受けしたいと思います。

それでは、最初に教育総務課からお願いいたします。

教育総務課長。

◎中村教育総務課長

教育総務課から、平成28年第3回野田市議会定例会における市政一般報告及び一般質問の概要についてまとめたものを、教育長の報告事項として報告させていただいております。平成28年第3回野田市議会定例会は、9月2日から9月28日までの会期で開催されました。

市政一般報告につきましては、教育委員会関係及び関連する事項を抜粋し、配付させていただきました。一般質問については、9月12日から9月14日までの3日間で、15名の議員から質問があり、そのうち関連のある8議員の答弁について、その概要を配付させていただいております。

教育委員会関係の議案等といたしましては、報告第1号としまして、平成27年度野田市一般会計継続費精算報告書について、議案第4号 野田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第5号 平成28年度野田市一般会計補正予算（第3号）、認第1号 平成27年度野田市一般会計歳入歳出決算認定について、議案第10号 野田市教育委員会委員の任命について、これらが提出されまして、すべての議案に関しまして可決されておりますことをご報告申し上げます。

引き続きまして、当日配付ということで資料を配付させていただいております公開質問状のことにについてご報告させていただきます。

お手元の本日配付させていただきました資料をご覧くださいと思います。

野田市を良くする市民の会代表、佐々木盛次氏から、野田市教育委員会会議資料や教育委員名簿のホームページの公開に関する公開質問状が9月26日に提出されました。この公開質問状は、市の附属機関である審議会、それと行政委員会であります教育委員会、監査委員に寄せられたものでございます。現在、市では、審議会の開催予定や会議結果の概要につきましてはホームページに掲載しておりますが、会議録や会議資料は掲載してございません。会議録や会議資料につきましては、非公開の審議会を除いて行政資料コーナーで公表しております。

先の6月議会におきまして、ホームページにも掲載することを要請する陳情の提出がありましたが、不採択となっております。市では、審議会の会議録や会議資料をホームページに掲載することは、情報発信の観点から必要と考えておりますが、その取扱いはそのそれぞれの審議会でご判断していただくべきものと考えており、各審議会において会議録や会議資料のホームページへの掲載や委員名簿の公表の可否について、お諮りしている状況でございます。

今回の公開質問の内容でございますが、1としまして、貴会の資料を野田市ホームページで公開することについてどのように考えているのか、2としまして、公開した方がよいと考えている資料種別（会議録・答申書・会議資料）、3としまして、委員名簿の公開に当たっての記載項目（氏名・性別・選出区分等）となっております。

教育委員会会議の議事録等の公表についてですが、対応といたしましては、委員の皆様もご存じのとおり、平成27年4月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正で、教育委員会会議の議事録の作成と公表についての努力義務が課されたことから、法律の規定に基づき、野田市教育委員会会議規則に議事録の公表の規定を追加し、27年4月1

日から施行いたしました。

規則改正により、平成27年4月以降に開かれる教育委員会会議から、非公開の会議に係る部分を除き、議事録及び会議資料をホームページに掲載し公表するとともに、市役所及び閑宿支所の行政資料コーナーにも配置しております。あわせて野田市教育要覧をホームページに掲載しており、教育長及び教育委員の職名、氏名、任期、就任年月日及び顔写真を公表しております。以上を踏まえた公開質問状に対する回答とさせていただきますが、

現在、市のホームページにおいて、教育委員会に関連する部分の閲覧がしづらいといった課題もございます。ホームページへの掲載方法等も検討しておりますので、その点も踏まえて回答したいと考えております。

お手元の資料の3枚目に、公開質問の回答案として提示させていただいております。公開質問の回答案としまして、教育委員会会議の議事録等については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、野田市教育委員会会議規則の一部を改正し、平成27年4月以降に開かれる教育委員会会議から、非公開の会議に係る部分を除き、議事録及び会議資料についてホームページ並びに市役所及び閑宿支所の行政資料コーナーに配置し公表しております。あわせて野田市教育要覧をホームページに掲載しており、教育長及び教育委員の職名、氏名、任期、就任年月日及び顔写真を公表しておりますが、議事録等と要覧の掲載箇所が異なるなど、分かりにくい点もあるため、委員名簿の記載項目と合わせて検索が容易にできるよう、ホームページへの掲載方法について検討したいと考えております。

以上の回答案で回答したいと考えております。

以上でございます。

◎東條教育長

次に、社会体育課からお願いします。

社会体育課長補佐。

◎植竹社会体育課長補佐

社会体育課から3点ほどご報告させていただきます。

1点目は、健康づくりフェスティバルの実施についてご報告いたします。

資料23ページ及び24ページをご覧になっていただきたいと思います。

10月16日日曜日午前10時から、野田市保健センターにて健康づくりフェスティバルを開催いたしました。このフェスティバルは、保健センターと社会体育課が中心となり、野田市医師会等のご協力をいただきながら、毎年実施しております。社会体育課では、「みんなで楽しく健康・体力づくり」をテーマに、各種体力測定や健康相談、えだまめ体操等の指導を行いました。当日は、100名の参加がございました。

2つ目といたしまして、第30回野田市民駅伝競走大会の開催についてご報告いたします。

資料25ページから28ページをご覧いただきたいと思います。

11月20日日曜日、野田市教育委員会、野田市体育協会主催の第30回野田市民駅伝競走大会を野田市総合公園にて開催いたします。コースは、野田市陸上競技場を出発し、公園内を周回するというコースで、種目につきましては、小学校男子、小学校女子、中学校男子、中学校女子、高校男子、一般及び高校女子、それに一般男子の7部門となっております。

なお、昨年の参加者は159チーム、795名となっております。

3つ目といたしまして、スポーツ功労者の表彰についてご報告いたします。

資料29ページから31ページをご覧いただきたいと思います。

10月7日に文部科学省の講堂におきまして、現在、野田市スポーツ推進審議会会長であ

り、野田市山岳協会会長でもあります平井忠様が、文部科学大臣から平成28年10月10日付けで生涯スポーツ功労者表彰を授与されましたので、ご報告いたします。

平井様は、野田市体育協会山岳部長として、59年という長きにわたりまして市民への登山の普及と技術向上に努め、野田市山岳界の基盤確立と興隆に尽くされました。また、平成4年より野田市ハイキングクラブ顧問として市民ハイキングの普及に尽力され、その指導力、功績が認められたものでございます。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

◎東條教育長

続いて、青少年課お願いいたします。

青少年課長。

◎上原青少年課長

それでは、青少年課から3点報告させていただきます。

初めに、平成28年度第1回野田市青少年センター運営審議会の概要についてご報告させていただきます。

報告事項の32ページをご覧くださいと思います。

お手元に、資料としまして当日の会議次第を配付させていただきました。

去る10月13日木曜日に青少年センター2階会議室におきまして、平成28年度第1回野田市青少年センター運営審議会を開催いたしました。当日の審議会は、委員総数11名のうち9名の出席をいただきました。

内容といたしましては、4月の人事異動等によりまして、11名中5名の方がかわられましたことから、出席されました各委員のご紹介を行い、冒頭に空席となりました副会長の選出についてを議題とし、委員の互選によりまして、副会長に学識経験者であります宮本明氏が選出され、決定をいたしました。

続いて、総務課より判断を求められておりました会議録のホームページへの掲載について総務課より説明を受け、協議を行いまして、青少年センター運営審議会としましては、会議録、会議資料、委員名簿をホームページ上で公開することで決定をいたしました。

なお、委員名簿については、氏名、任期及び選出区分の項目に限って委員名簿を公表することとし、職業や所属団体、役職名などの情報を公表用の名簿に記載するかにつきましては、野田市情報公開・個人情報保護審査会において審議され、取り扱いの決定が出しだい、改めて審議会において協議し、判断することといたしました。

次に、事務局から報告事項としまして平成28年度の青少年センター事業（上半期）の実施状況について、街頭補導の実施状況及び不審者情報並びに会議室・備品等の貸し出し業務の内容についてご報告し、ご了承いただきました。

次に、各委員の皆様には、行政機関及び所属団体等の近況及び活動状況についてご報告をいただき、情報交換を行いました。

次に、2点目でございます。

オープンサタデークラブの実施状況（前期）についてご報告いたします。

33ページをご覧くださいと思います。

オープンサタデークラブ年間全17回開催のうち、前期全9回が平成28年10月1日土曜日に終了しましたので、前期の実施状況について及び後期第1回目から小学1年生が参加いたしましたので、募集結果についても併せてご報告いたします。

初めに、前期全9回の実施状況でございますが、4月16日土曜日に27会場、35講座でスタートしましたオープンサタデークラブにつきましては、事故、けが等もなく、前期全9

回を無事終了いたしました。前期参加申込者数につきましては1,114人で、昨年同時期と比較しまして172人の増となり、申し込み率では10.1%で、昨年より1.6%の増となりました。

次に、小学1年生の募集結果についてでございますが、後期第1回目の講座から参加いたしました小学1年生につきましては、20講座で募集したところ178人の参加申し込みがあり、昨年より3人減となりましたが、小中全体合計で1,292人で、昨年度末と比較しまして168人の増となりました。申し込まれた小学1年生の178人につきましては、希望どおりの講座に全員が受講決定することができました。

次に、3点目でございます。

第38回野田市こどもまつりの結果についてご報告いたします。

配付資料はございません。

去る10月23日日曜日に野田市立清水台小学校校庭におきまして、第38回野田市こどもまつりを開催いたしました。当日は、開会式のアトラクションでは、清水台小学校の吹奏楽部の皆さんに素晴らしい演奏を披露していただきました。そしてばっばか獅子舞保存会の子供たちによるおはやし、棒術及びユニサイクル清水隊の子供たちによる一輪車のパフォーマンスなど、こどもまつりを盛り上げていただきました。

なお、当日の参加者数につきましては、子供と家族合わせまして約800人の来場者があり、遊びや体験を通して、参加された各種団体関係者の皆さんとの交流や家族、友達と楽しい1日を過ごすことができました。特に事故、けが等はございませんでした。

青少年課からは以上でございます。

◎東條教育長

次に、指導課からお願いいたします。

指導課長。

◎桑原指導課長

指導課所管の事業等について、資料の項目に沿いましてご報告いたします。

まず、第70回東葛飾地方中学校駅伝競走大会についてご報告いたします。

資料34ページになります。

今年度は、松戸スタート、野田ゴールで、10月15日土曜日に実施されました。野田市内では、第一中学校が4位、北部中学校が10位入賞となりました。各中学校の健闘をたたえたいと思います。

2点目は、いじめ実態調査の結果についてです。

資料35ページになります。

先月の教育委員会定例会の折に、いじめアンケートの結果を受けて、追跡調査の途中経過を報告させていただきましたが、最終結果についてご報告いたします。

いじめの解消率は、小学校が97.0%、中学校が93.8%になりました。昨年度の第1回調査では、小学校が95.8%、中学校が65.5%でしたので、昨年度に比べて小、中学校ともに解消率が改善しました。特に中学校は大幅な改善になりました。解消率が向上したことはよい傾向であります。継続支援を必要としている児童生徒がいることや、アンケートには「いじめがあった」と記入しなかった児童・生徒の中には、本当は何かの苦痛を感じていることがあるかもしれないという思いを忘れずに対応していきたいと思います。

また、各学校にも教育相談体制を日常化し、アンケートだけにいじめの発見方法を頼るのではなく、常に危機管理意識を高め、組織で対応をとるよう指導してまいります。

なお、第2回目のいじめ実態調査を10月18日火曜日から11月9日水曜日まで実施してお

ります。

3点目は、資料36ページの千葉県児童生徒・教職員科学作品展受賞者の報告になります。

10月15日土曜、16日日曜日、千葉市の総合教育センターで行われました作品展に、市の代表作品として13点を出品いたしました。結果は、科学論文の部で二ツ塚小6年の古矢瑞希さんと福田中2年の富田知優さんが、科学工夫工作の部では北部小2年の光野成海さんが、以上3名が優良賞となりました。

なお、全国の作品展に出品される作品は、今回はございませんでした。

4点目は、資料37ページの音楽コンクールの結果についてでございます。

吹奏楽連盟主催の8月23日の結果については、先月口頭でご報告させていただいたものになります。10月2日の東関東大会では、東部小が銀賞、東部中と南部中が金賞を受賞しました。南部中は東関東代表として4年連続で大阪城ホールで行われる第29回全日本マーチングコンテストに出場します。

マーチングバンド協会主催のマーチングバンド千葉県大会については、先月口頭でご報告させていただいた内容になります。最終結果は、11月の教育委員会議でご報告いたします。

なお、資料にはございませんが、先週の10月18日火曜、19日水曜日に野田市小中学校音楽会が文化会館で開かれました。素晴らしい音楽会であったと講師の先生方からお褒めの言葉をいただきました。

なお、出演児童・生徒やご来賓以外に、鑑賞できる方々を本年度から保護者のみの方に限定し、チケット制にさせていただきました。初めてのことで混乱することもありましたが、大きなトラブルもなく、無事終了することができました。課題を十分に洗い出し、来年度に生かすよう、音楽会運営委員会に指導してまいります。

最後に、9月25日日曜日に実施された市内中学校体育祭でのけがの状況についてご報告いたします。

資料38ページになります。

組み体操の実施が取りやめになり、中学校初めての体育祭でした。市内では、5校が以前から組み体操を実施しておりませんが、昨年度のけがは18人でしたので、今年度23人は微増となります。骨折は昨年度5人で、今年度は4人です。小学校の場合は、昨年度20人、今年度が11人で、骨折が4人からゼロ人へと、組み体操の取りやめ効果が出ておりますが、中学校は大きな変化がありませんでした。この原因は、資料にもありますように、練習期間中に雨天の日が多く、十分な練習が行われなかったことが当日のけがを増加させたためだと考えております。

いずれにしましても、こうしたけがの状況を踏まえ、発達段階を考慮した計画によって、児童・生徒の安全を第一に考えた運動会、体育祭となるように、今後も指導してまいります。

以上でございます。

◎東條教育長

この際、ほかに報告事項がありましたらお願いいたします。

ございませんでしょうか。

それでは、ただいま報告のありました報告事項につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いをいたします。

いかがでしょうか。

高橋委員。

◎高橋委員

議会の答弁の中で、教えていただきたいんですが、野田市の場合に、小中学校の不登校児数、これが増えていると。中学校は他市と比べて野田市は率が高いというふうな答弁があるんですが、大きな課題の一つになっているなという感じはするんですが、昔から、以前から適応指導教室、ここへの通うのを出席として認めているという実態もあろうかと思うんですが、現在の通級指導教室への通われている小中学生の人数、そして毎年ここに通いながら学校のほうの学級に登校できるようになっているお子さんが何人かいるように聞いていますので、その人数、昨年度と今年度と現在の形で教えていただけますでしょうか。

◎東條教育長

指導課長。

◎桑原指導課長

まず、今年度、通級指導学級を使っております児童・生徒数でございますが、10月現在で中学生8人、小学生5人でございます。27年度、年間で申し上げますと、全体では19名でございます。小学校3人、中学校16人になります。このうち、復帰をしましたのが11名でございますので、復帰率は27年度は58%ということになっております。

以上でございます。

◎東條教育長

よろしいでしょうか。

◎高橋委員

はい。今の人数をお聞きして、昨年度の復帰人数が11人と、非常に高い数字かなというふうに思うんですが、市内からなかなか通い切れないというのも実体かなというふうには思うんですが、できるだけこういう適応指導教室、これを利用する、そういう方向で、各学校が指導に入れればいいのか。家にじっとしているお子さんを考えると、かわいそうだなという気もしますし、中には各学校でそれなりの対策を立てられているというふうにも、答弁の中にお見受けしているんですが、やっぱり学校でそういうふうな特別な教室というのは、周りの目がどうしても気になるんじゃないかなというふうなことも感じないでもない。そういうことで、この適応指導教室というものをもっともって利用できないものかなというふうに思うところがございまして、ぜひそういうふうに通える子供を多くしていただければということをお願いをさせていただきたいと思います。

以上です。

◎東條教育長

指導課長。

◎桑原指導課長

ありがとうございました。

まず、未確定の部分はございますが、なるべく各地域、地区ごとで通える子になるべく出るようにということで、どうしてもひばり教育相談が柳沢にございますので、関宿地区にもう一つあれば、関宿地区の子どもたちは来やすくなるのではないかと考えておりますので、その方向で進められればいいのかというふうに考えております。

以上でございます。

◎東條教育長

他にいかがでしょうか。

永瀬委員。

◎永瀬委員

駅伝大会の結果を見させていただいて、去年と比べまして、一中、北中と非常にいい、強豪の中で非常にいい結果になったと思うんですけども、去年、今年で指導方法のまた違いか、そういうものがあつたのかどうか教えてください。

◎東條教育長

学校教育課長。

◎長妻学校教育課長

すみません、部外者なんですけれども、私の立場から答えさせていただきます。

実は今回、東部中に松崎先生という非常に駅伝に長けた先生がいらっしゃって、南部中をずっとご指導されていたんですね。今まで割と南部中を中心に入賞することが近年続いておりまして、そういった指導力の成果かなと思っているんですが、今回、新たに一中と北部中、若手の指導者がきちんと指導し、そして結果を残したということが、大変好結果につながったなというふうに思っています。

今、市内では、中学校で合同合宿というような形で、松崎先生や篠塚先生というある程度お力のある先生が中心になって、そして若手が参加し、それが若手がきちんと習得し、そして子どもたちの指導に生かしているというようなところが、この何年間といった合同合宿とかそういった指導の仕方のそういった伝授が、ある程度いい方向に向いて、今年の結果につながったかなというふうに思っております。

これがまた来年以降も継続してよい結果につながっていけるよう、また指導してまいりたいと思います。

以上です。

◎東條教育長

他にいかがでしょうか。

高橋委員。

◎高橋委員

この駅伝大会については、昨年度、ちょっとここで意見を言わせていただいた記憶があるものですから、それに、昨年度に比べたら、本当にこの順位の入賞2校と、これ、大変素晴らしい成績だったなというふうに思います。今も課長さんのほうからお話があつて、そういう指導をなされたんだなということを感じたんですが、ただ、この順位をずっと見ていくと、市内の中でもえらい差があるなと。というのは、60位以下の、順位でこんなことを言っているのかどうかわかりませんが、勝負をしているんですから、あえていい成績を収めたいというのが私の考えですので、あえて言わせていただきますと、60位以下の学校の中に、市内の中学校が5校入っている。半分近くがこういう状況ということで、来年また新たな成績を期待したいなということで、なかなか指導者の先生だって一生懸命やられているのは、もう目に見えているんですが、結果を伴わないというのがありますので、ある程度の年数が必要な場面もあるかと思います。そういう意味で、今、課長さんおっしゃいましたように、ぜひ続けていただければと、また違う結果が出てくるんじゃないかということで、期待しております。

同じことを、音楽会で私、感じました。私が感じたというよりも、私の周りにお母さん方の話の中で、私がそう思った。というのは、お母さん方が、この学校は先生がいいからうまいよねと言うんですよ。私もそれは否定するわけにもいかないし、私もそう思っていたところもあるものですから、ぜひ駅伝に限らず、音楽のほうに関しても、市内に非

常に指導のうまい先生もいらっしゃいますので、その先生方の力を若い先生方に伝えていただけるような、そんな何かシステムみたいなものが、また考えていければいいな。ベテランの先生はいずれはいなくなりますので、そういう意味では、そういう遺産を若い先生方にぜひ伝える、そういうシステムをつくっていただければありがたいなということを感じました。これは感想でございます。

以上です。

◎東條教育長

ありがとうございました。

飯田委員。

◎飯田委員

不登校があると思うんです。いじめが原因での不登校は、今ありますか。

◎東條教育長

指導課長。

◎桑原指導課長

不登校の中に、いじめが原因で不登校になっているかということでございますけれども、そういう報告自体は受けてございませんが、潜在的にはあるかもしれないと思っております。それは指導主事等がいじめ実態調査の中で追跡調査、聞き取りをしておりますので、その中で確認できればと思っております。現状は、報告受けておりません。

以上でございます。

◎東條教育長

飯田委員。

◎飯田委員

ありがとうございます。不登校に関するいじめの問題、課長さん、先ほどの話の中で、アンテナ高くというお話をなさっていました。十分この辺もケアしていただくようお願いできればというふうに、これは要望でございます。よろしくお願いいたします。

以上です。

◎東條教育長

改めていかがでしょうか。

伊藤委員。

◎伊藤委員

先ほどの駅伝大会、音楽コンクールで、こういう表彰順位を見ると、昨年と比べると確かに指導者の先生のお力があると思うんですけれども、何だか学校の文化みたいなものもあるのかなという気も、私、したんですけれども、どちらかというと上位校がかなり規模が大きな学校で、先ほど、下位の60位以下、規模が余り大きくないのかなと。ですから、下位の学校で、他の70校もある中で、結構大変な、学校の文化というのか、やはり指導者の影響なんだと思うんですけれども、音楽コンクールも、南部中というのは規模も大きくて、立派な指導者がいてということだと思っておりますけれども、学校の文化を、先生方が世代交代していく中で、どうコーチしていくかというのが、どう褒賞できるのかという、やっぱり人事交流とか人事異動になるのかなというふうに、ちょっと考えていたんで、そういう意図での人事交流なり人事異動というのは、市としては何か計画とかもしあれば。

◎東條教育長

いかがでしょうか。

学校教育課長。

◎長妻学校教育課長

駅伝が今回ちょっと結果が出ておりますので、それに基づいての話をたくさんいただいておりますが、今言ったみたいに、ちょっと規模のなかなか小さなところが結果を出すということも、一端にはあるかというふうに思いますが、実は東部中学校も割と規模的には小さな学校なんですけど、26位ということで非常に善戦しているんですね。こういったところは、当然やっぱり指導力のところと、あとベテラン組と若手組がうまく関係良くいっているところは、こういった変化につながって、若手は頑張っているんですが、なかなか目標となるべきベテランであったり主任層がちょっと弱いところは、なかなか結果までいかないといったところはございます。

ですので、そういったこともありますので、人事をやる上では、当然そういったベテラン組というんでしょうか、主任層と、あと若手になるべく上手に組ませるような形につながるような人事配置をさせていただいております。

あと、これはちょっと管理職関係になってしまいうんですが、基本的に今、千葉県の場合は、2地域を経験しないと管理職選考を受けられないという状況がございまして、ですから野田市にずっといい先生だけ置いておいても、管理職選考を受けられないという状況がありますので、他市に出して、そして2地域を経験させる方法がございまして、若干、今、若いうちに他地域を勉強して、そして3年の期間があるんですが、そしてまた力をつけて、また本市で活躍できるようにということで、今までと違ってちょっと若手を早目に他市に出して勉強させて、そしてまた地元に戻して、そして力をつけていこうという一つの流れがございまして、またそれをうまく使いながら、あと、今言ったベテラン組との組み合わせを考えながら、野田市全体の力をつけていきたいというふうに考えております。以上でございます。

◎伊藤委員

どうもありがとうございました。

確かに先生方の年齢分布が片こぶになって、ちょうど大きなこぶが移って、また管理職に候補の方たちの数が少なくて、また若い人がふえているという中で、繋げていくというのは、多分全国的な同じ課題なんだと思います。

どうもありがとうございました。

◎東條教育長

他にいかがでしょうか。

よろいですか。

それでは、無いようでございますので、以上で教育長の報告事項を終了いたします。ありがとうございました。

それでは、以上で本日の教育委員会定例会を閉会といたします。

以上会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委 員